

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	シェルパ(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年12月29日		~ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年1月5日		~ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様アンケートにて「職員が共感的に支援してくれている」「子どもが安心して通っている」と高い評価を頂いています。	課題などで苦手と思われることもありますが、出来るだけ負担のない形、楽しいと思えるような時間の提供には努めています。	職員の経験不足により、専門的な相談への助言が難しい場面があることを課題としています。今後は研修や事例検討を重ね、共感だけでなく、プロとしての確かな助言ができるよう専門性を高めます。
2	組織全体で「より良い支援」を追求する姿勢が定着しています。自己評価でも「業務改善のPDCA」や「支援後の振り返り」が高評価であり、チーム全体で支援の質を管理・向上させる風土が強みです。	打ち合わせとして取っている時間は短時間ですが、職員間で打ち合わせを行い、その日の活動や直近のお子様の様子、ヒヤリハットを共有しています。日々の記録と検証を徹底することで、支援のバラつきを 방지、質の維持に努めています。	職員間での情報共有はできていますが、長くなりすぎたりもあるので、短時間で的確な打ち合わせができるようにスキルアップを図っていききたいと思います。
3	「子どものことを理解して」の項目で高評価をいただいています。	一人一人の状況については考えている時間は長く取られています。	一人一人のお子さんについて考えることはしている。正確に把握できるようにスキルアップを図っていきます。

3

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内環境の構造化(わかりやすさ)において、物品の配置が十分でなく、お子様にとって視覚的に分かりにくい部分がある点が課題です。	遊びが発展しやすいように置いておく物品の種類や量の調整ができていない。	試行錯誤で子どもたちが遊びやすい、わかりやすい環境を整えていく
2	保護者との連絡調整において、時間的な余裕を持たず、直前になってしまうケースがある点が課題です。	特に送迎時間などは当日の連絡をいただいたり、こちらから確認の連絡をすることが多い。	わかる予定に関しては前日までに確認がとれるようにしていく
3	保護者様からの専門的な育児相談や将来への不安に対し、経験不足から十分な助言やご提案ができない場面があることを課題と捉えています。	職員個々の経験年数やスキルの差により、対応に自信を持ってないケースがあります。また、お子様本人の意向を丁寧に聞き取る機会も不足していました。	相談支援の場に参加する機会を増やして、チーム全体で支援力を底上げします。お子様の声を聴く機会も意識的に設け、共に考える相談支援を実現します。